

議会だより



ひよこぴよぴよ ～ひよこ組～
さくらこども園保育発表会

平成27年12月定例会・臨時会

あらし・議案審議	2
予算審査特別委員会	3
請 願	4
委員会提出議案・臨時会	5
一般質問 8人が登壇	6
委員会レポート	14
町民の声	16

あらまし

12月定例会は12月7日から17日まで開催されました。
町長から提出された議案は、平成27年度補正予算案件6件、条例の制定案件1件、条例の一部改正案件5件、町道路線の認定案件2件、財産の取得1件であり、すべて原案のとおり可決しました。

また、委員会提出議案3件が提出されました。
一般質問は8人の議員により2日間にわたり行われました。

【主な質疑】

個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例

問 個人情報の漏洩がこの条例で担保されるのか。

答 マイナンバーは、個人の4情報「氏名」「住所」「生年月日」「男女別」が入っている。利用にあたっては、符号化して使用するようになる。事務の中で個人番号を記入することになるが、それが外部に出ることはないと考えている。

索道事業施設条例の一部を改正する条例

問 町民への割引サービス等はどうになっているのか。

答 条例で減免規定を設けている。町内の児童、生徒については、シーズンの発行手数料千円はかかるが、シーズン券は無料となる。また、児童、生徒の保護者についても、シーズン券が1万円プラス手数料千円で購入できる。

税条例の一部を改正する条例

反対討論！

【五十嵐ミエ子議員】

この条例はマイナンバー制度を実際に利用するために具体化したものである。個人番号を付けなくても、今の制度を活用すれば住民へのサービスは十分出来る。マイナンバー制度を中止しても町民生活に支障はおきない。導入には問題があり、この制度を運用するための環境整備を進める議案には反対。

賛成討論！

【金本久美子議員】

基本的にマイナンバー制度は国の政策であり、交付金、補助金で事務を執行している。今回は地方税法の改正に伴う税条例の一部改正であるため賛成。

一般会計補正予算（第4号）

反対討論！

【五十嵐ミエ子議員】

マイナンバー制度の実施に向けた予算が盛り込まれていることから反対。

マイナンバー制度移行に伴う条例改正・補正予算可決！

予算審査特別委員会

議長を除く14人の委員で、平成27年度補正予算6件を審査。一般会計補正予算については賛成多数、その他については賛成全員により可決しました。

平成27年一般会計補正予算

【歳入】

問 消防防災施設整備補助金の減額の要因と今後の対策は。

答 荻窪地区、東館地区の防火水槽の補助申請をしたが、1次・2次ともに不採択であったので減額とした。平成28年度についても、県に補助申請していきたい。

《県支出金》

問 森林・林業再生基盤づくり交付金
が、道の駅事業の請差分と対象外経費を合わせて減額とあるが、その割合は。

答 プロジェクト交付金の中で、道路情報を提供するコーナーは木造であれば良いという協議を進めていたが、交付金とダブる部分があり、県の補助金で対応するよう協議が整ったので減額した。

《寄付金》

問 社会福祉寄付金の内容は。

答 東京にお住まいの本町出身であった方の遺言により、猪苗代町に寄付いただいた。

【歳出】

《民生費》

問 町内の人工透析の対象者数は。

答 町内の患者数は36人で、交通費補助対象者は4名である。

《衛生費》

問 浄化槽設置事業補助金が減額となっているが、その予定数は。

答 当初は23基を見込んでいたが、実績により19基の予定となる。

《農林水産費》

問 機構集積協力金と経営転換協力金の内容と内訳は。

答 機構集積協力金は、地区で人・農地プランを作成し、中間管理機構を通して集積した集落に対して交付され、農業振興のために使っていた。面積やその割合によって交付単価が違う。

経営転換協力金は、中間管理機構を通して離農や経営転換を行う農家が該当し、その面積に応じて違うが、一戸あたり0・5ha以下であれば30万円、0・5ha～2・0haは50万円、2・0haを超えると70万円交付される。

問 転換協力金は転作の内容と違うのか。

答 水稲から他の作物に変更するのが転作であり、経営転換協力金は離農によるものである。

問 機構集積協力金の交付先は。

答 地区の農地集積、担い手の育成に
対して交付されるものである。

問 多面的機能支払交付金の取組み対象地域はいくつあるのか。

答 53地域が取り組んでいる。

【議案内容と可決状況】

件 名	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	結果
	細貝 功人	佐藤 悦夫	佐藤 英一郎	長澤 操	金本 久美子	渡辺 真一郎	五十嵐 ミエ子	後藤 公男	渡部 博幸	山田 長平	関沢 和人	鈴木 武喜	穴沢 進	佐藤 光幸	長沼 一夫	
平成27年度猪苗代町一般会計補正予算	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	－	可決
猪苗代町 税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
猪苗代町 国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
猪苗代町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	－	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、届出欠席は「欠」 議長は採決に加わらない。



予算審査特別委員会

あなたの声を審議しました!!

12月定例会で審議された「請願」の結果は次のとおりです。

区分	件名 請願者の氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
請願第3号	憲法9条に反する「安全保障関連法案」の廃案を求める意見書提出を求める請願 戦争をさせない猪苗代の会 阿部 重孝	五十嵐ミエ子	総務	不採択
請願第4号	猪苗代保育所跡地の有効活用に関する請願 小川 久美子	金本 久美子	文教厚生	採択
請願第5号	安全保障関連法の強行採決に抗議し廃止を求める意見書の提出を求める請願 I女性会議猪苗代班 渡邊 アイ子	佐藤 英一郎	総務	不採択
請願第6号	公立小中学校の教職員数の充実・確保のための意見書の提出を求める請願 福島県教職員組合 中央執行委員長 角田政志 福島県教職員組合北会支部 支部長 戸内 敏博	佐藤 英一郎	文教厚生	採択

請願第3号

「憲法9条に反する「安全保障関連法案」の廃止を求める意見書提出を求める請願」

総務常任委員会の不採択の理由

国会において、すでに可決成立した法案であり、議論する時期は過ぎ去ったと判断し、不採択とする。

請願第5号

「安全保障関連法の強行採決に抗議し廃止を求める意見書の提出を求める請願」

総務常任委員会の不採択の理由

意見書の内容と、表題の「戦争法」との関連が不明確で、判り難い。意見書の内容把握が困難なため、不採択とする。

討論!!

原案に対して賛成

【佐藤 英一郎 議員】

確かに文言等について適切でない表現等があったことは事実である。しかし、これほど意見が分かれた法案はなく、正式に国民に信を問うという内容のものではなかったのかと考える。
国の関係機関に意見書を提出されるよう切望する。

原案に対して反対

【渡辺 真一郎 議員】

決して外国で戦争するためではなく、日本の国民を救出するために成立された法律であるので、反対である。

原案に対して賛成

【五十嵐ミエ子 議員】

数の力で強行採決成立させた「安全保障関連法」を廃止し、立憲主義と民主主義を守り、意見書を提出することを望む。

議会運営委員会提出議案

「猪苗代町議会委員会条例の一部を改正する条例」

【内容】猪苗代町議会議員定数条例が一部改正されたことに伴い、経済建設常任委員会の定数を6人から5人に改め、平成28年3月1日から施行する。

賛成全員 採択

「猪苗代町議会事務局処務規程の一部を改正する訓令」

【内容】地方公務員法が一部改正されたことに伴い、別表「主事補」の項を削り、平成28年1月1日から施行する。

賛成全員 採択

文教厚生常任委員会提出議案

「公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書の提出」

【内容】子どもたち一人ひとりへのきめ細やかな指導を維持・向上させ、保護者をはじめとする地域住民からのニーズに応えるためにも、公立小中学校の教職員数の充実・確保を図るよう求める。

賛成全員 採択

優良堆肥製造施設のホイルローダ取得!!

臨時会 (11月10日)

あらまし

平成27年第8回臨時会は11月10日開催され、財産の取得1件を審議し、全会一致で可決されました。

【審議内容】

○財産の取得について

優良堆肥製造施設のホイルローダが、老朽化により使用に耐え難い状態であるため、施設運営の停滞を防ぐ観点から、取得を提案する。取得金額は653万4千円、納入期限は平成28年3月31日とする。

【主な質疑】

問 現在使用しているホイルローダは修理して使用するのか。

答 新しく取得するホイルローダが納品になるまでは、必要最低限の修理をしながら活用する。修理費が毎年高額になっているため、継続して活用することは考えていない。

問 機種は限定したのか。

答 機種は限定していない。仕様書により該当する機種を購入した。施設内で切り廻しできるよ



取得するホイルローダ

うに、一般的なホイルローダよりも一回り小さめで、バケット容量、その幅等を定め、決定した。



金本 久美子 議員

Q. 園児募集が具体化する1月末か
2月初めの説明会の予定は

A. 説明会開催の方向で検討したい

ひまわりこども園の園児募集は

【金子】通園バス送迎案としての発着場所と時間帯は、予定人数は。

【答弁】1号認定の168名の園児対象で、利用者数は120名で、予定している49号線、県道7号線、15号線のバス3台の出発時間は7時50分で、添乗員を1名配置し、長くて40分くらいの乗車と考えている。現在地図上でチェックし、時間の問題、ルートの問題、いろいろの条件もあると思うが、安全を確保しながら停車場を含め検討している。

【金子】通園の安全対策のその後は。

【答弁】ひまわりこども園の北側の道路は町道であり、都市計画道路にも指定されている。現在はまだ歩道が整備されていない。今後万全な対策を講じ、優先的に対応していきたい。

【金子】こども園の行事等で旧会津バス跡地を利用する等説明があったが、それらの措置が講じられるまで、危険な状態のままにしておくのか。

またフェンスのみでJRや水路の安全対策は万全か。

【答弁】付近の安全点検、危険個所の情報を共有しながら、十分な対応を図っていきたい。さらに雪の状況、園庭の除雪のあり方を一冬観察しながら28年度に向けて検討していきたい。



早急な安全対策が望まれる
「ひまわりこども園」北側の町道

【金子】職員の対応は。

【答弁】現在の職員数は30名で、2名増員し、正職員16名、嘱託職員16名の32名で、園の運営に関する諸問題に、迅速に対応できるようにしていく予定である。

【金子】規模が大きくなるが、行政面のこども課長と、教育分野のスペ

シャリストとしての園長先生と、画面からのサポートが必要では。

【答弁】十分に意見として承り、具体的なコメントは差し控えたい。

【金子】いままでの回答も含め、より具体的な説明がないと、父兄の不安の解決ができないのでは。

【答弁】今後の通園児の保護者とコンセンサスをとり、よりよい運営につなげる上でも説明会を開催する方向で検討させていただきたい。

【金子】体験入園、1日入園等の考えは。

【答弁】2月23日を予定している。そこでも保護者に園の運営についてご協力、ご理解をいただきながら進めてまいりたい。

【金子】幼児教育後の小中学校の再利用も含めた統合は。

【答弁】25年3月に町教育施設適正配置等推進委員会より提言をいただいている。

その枠の中で、なるべく早く推進委員会を開催し、合意形成を図っていきたい。

中央商店街の活性化対策は

【関沢】町の顔であり、注目せざるを得ない中央商店街が現在どのようになっているか。

【答弁】中央商店街の後継者問題等も含め、大変厳しい状況にあると認識している。「町の顔」であるので、各種施策を講じながら活性化を図っていきたい。



猪苗代町中央商店街

中央商店街の現状は、九軒町交差点までの区間で、営業店舗59軒、空き店舗10軒。空き店舗対策事業

補助金を活用し、店舗が創業されるなど、成果も出ていると捉えている。

【関沢】現在59店舗が頑張っているので、魅力ある商店街づくりも当然分かれる。最近十八間蔵を美術館にした。素材の一つと思うが、野口英世に関するたくさんの素材がある。来町した人たちが回遊するようなしくみを講じていく必要は。

【答弁】野口英世博士が少年時代を過ごした町として、小学校跡地であるとか友人宅や小林栄先生の旧宅を活用できないかという趣旨だと思うが、中央商店街に隣接する旧役場跡地は旧尋常小学校の跡地であり、博士の友人宅や、小林栄先生の旧宅等も博士ゆかりの地として魅力があり、活性化に繋がるものと期待できるが、民有地であり地権者の意向を踏まえながら、検討してまいりたい。

【関沢】回遊策として町中散策、宝探しというのだが、具体的にどこを対象に行ったのか。

【答弁】リアル宝探しイベント「コードF」は、宝探しということで、ゲーム感覚で町中歩きを実施する内容である。本年度については、ゴールとなる宝箱を「はじまりの美術館」に設けた。ヒントとなるところは、野口記念館の至誠館、ガラス館、中央商店街のべろながやに設けることにより、観光地を回遊して頂くというような考えになっている。

【関沢】歩いて暮らせるまちづくりとして、あの通りは冬になると融雪のため地下水を散水させるが、それを無散水化する必要は。

【答弁】当該道路の無散水消雪設備については、中央商店街の活性化対策をはじめとするまちづくり計画の中で、整備の方向性を検討していく。



五十嵐 ミエ子 議員

Q. 子ども・子育て支援新制度における
本町の保育料は

A. 新制度前の水準を維持

本町の保育料は

【五十嵐】新制度の保育料は。

【答弁】1号認定については、3階層で
累進性を抑え、保育料の額も新制
度前の水準を維持するため、国の
基準より低い保育料となっている。
2号認定、3号認定についても、
7階層で累進性を抑え、新制度前
の水準を維持するため、国の基準
より低い保育料となっており、保
護者の負担軽減に努めている。



こども園の楽しい運動会

【五十嵐】多子世帯の保育料の軽減は。

【答弁】1号認定の子どもの場合は、2
人目半額、3人目以降は無料とな
る。2号認定、3号認定のこども
の場合は、小学校就学前の範囲に
おいて1号認定同様、2人目半額、
3人目以降無料となる。

【五十嵐】2人目の無料化に対する考え
は。

【答弁】重要な課題であると考えているが、
早急な実現は難しいものであるこ
とから、国県に財政支援をお願い
しながら、保育料の軽減に取り組
んでまいりたい。

小中学校の給食費無料化は

【五十嵐】義務教育の9年間は給食を無
料とする考えは。

【答弁】人口減少に対応するため、子育
て支援の一環として、実施してい
る自治体もあるので、今後検討す
る。

住宅リフォーム助成制度は

【五十嵐】住宅環境の改善と地域経済の
活性化の住宅リフォーム制度の助
成は。

【答弁】住宅の改善費用や浄化槽設置費
用等の補助を行っており、25年度
から木造住宅の耐震化のための補
助を行っている。町民の方々にも
積極的に利用していただきたい。
一般住宅のリフォームに対する
一律補助については、目的、効果、
財源等を十分に精査する必要があ
り、検討していきたい。

地熱資源開発調査事業の進捗状
況は

【五十嵐】地熱発電を危惧する声に対し
て町の考えは。

【答弁】事業主体は「福島県地熱プロ
ジェクトチーム」である。事業主
が一義的な責任を持つ。調査前の
状況を把握しており、変化が生じ
たというようなことがあれば、法
律上の問題があるので、それなり
の対応をしていただく。

道の駅猪苗代建設の進捗状況は

【渡部】現在の工事の進捗状況は。

【答弁】27年度分は、建築本体工事、機
械設備工事及び電気設備工事並び
に敷地造成工事を発注し、建築本
体工事は基礎工事を、敷地造成工
事は載荷盛土及び水路工事を施工
中である。県で整備する屋外トイ
レ及び国道からの進入路の拡幅に
ついても発注となり、全体で行程
会議を行い整備を進めている。

【渡部】レストランでの食材は地元産を
利用すべきと思うが。

【答弁】ブランド化を図っている米、そ
ば、野菜等本町農業の振興と、生
産者の所得確保を図る観点からも
できうる限り町内産の農産物を利
用するよう指導していく。



地元産のブランド米
「いなわしろ天のつぶ」

渡部 博幸 議員

Q. 町立病院の現状と課題は

A. 指定管理者と協議をしながら町民のため
になることは率先してやっていく

現在の外来、入院患者数の状況は

【渡部】町には町立病院以外に個人病院
が5つある。その中で外来、入院
患者数の現在の状況は。

【答弁】26年度実績で、外来患者延数1
万6千237人、入院患者延数1
万3千946人となっている。27
年度は10月末で外来患者数8千8
79人、入院患者数8千384人
となっており、前年同月比で外来
90・8%、入院107・8%であつ
た。

【渡部】病院経営をしていく中では、容
易でないと考えられるが、病院と
して改善すべきことは。

【答弁】民間のノウハウ、病院経営のノ
ウハウすべて優良なものを持って
いる温知会に町は指定管理者をお
願ひしている。決算はなんとか黒
字という状況である。また、改善
すべき点について、いろいろな意
見をいただく。それらについては、
適宜、内部の委員会を設置し、誠
意をもって対応している。



期待される町立病院

【渡部】皮膚科、耳鼻咽喉科等、週1回
から2回、医師が病院に来て診て
くれる状況があればと思うが。

【答弁】現在、全国的に医師不足がいわ
れている。1時間足らずで東西両
市に大きな総合病院もあるので、
医師の招へい、患者数との関係上、
現在は診療を見合わせている診療
科もある。ご理解いただきたい。
指定管理者と協議し、一つひとつ
整理をしながら町民のためになる
ことは率先してやっていく。

【渡部】毎年の病院運営基盤負担金は。

【答弁】19年から指定管理の終わる38年
まで、毎年2千400万円負担し
ていく。



長澤 操 議員

Q. 陳情・請願に対する取組みは
A. 財源確保に努め、財政状況等を考慮しながら対応したい

次年度の公共事業は

【長澤】少子高齢化の中でのインフラ整備等の公共事業は。

【答弁】主に道路等のインフラ整備とされる。今後の町長査定等を踏まえながら明らかにしたい。予算編成については、主に重点事業に活かすとともに、地方創生に反映させたい。



進むインフラ整備

【長澤】陳情・請願に対する取組みと現状は。

【答弁】直近3年間で28件の工事等に関する陳情・請願があり、そのうち対応された件数は7件である。議会の決定については充分尊重しており、採択された事業については

計画を盛り込みながら、財源確保に努め、財政状況等を考慮しながら対応したい。

野生動物(有害鳥獣)の生育状況は

【長澤】町の現状と、被害・苦情等の対応と対策は。

【答弁】ニホンザルについては23年には9群500頭を確認。現在は12群約700頭の生息が確認されており、被害状況は増加傾向にある。また、ハクビシン・カワウも全域に出没し、被害をもたらししている。苦情・要望は追い払い用花火配布の件や電気柵購入にかかる町の補助金についてである。

【長澤】野生動物が増え続ける状況下で、花火・電気柵での対応で充分なのか。

【答弁】最も効果があるのは電気柵であるので、設置にかかる指導・助言と支援を行っている。

多面的機能支払交付金制度を活用し、集落単位の推進を行い、本年度は8集落で実施した。

花火の他に忌避発光装置や誘引物の撤去による進入防止策の実施、集落の被害対策組織の設立、有害

鳥獣駆除隊と連携し、対策を講じてまいりたい。

基幹産業である農業と観光産業の取組みは

【長澤】TPP問題や米の収量減、国の補助金の削減等の影響は。

【答弁】稲作農家にとっては大変厳しいと考えている。町の農業振興は、国の施策があり、それを十分活用したい。

町独自では、大型化・ブランド化の推進に取組み、新たに「猪苗代おいしいお米コンテスト」を実施し、付加価値を高めていきたい。

【長澤】首都圏のお客様を呼び込むための戦略は。

【答弁】DCの「花・食・温泉」をテーマとして、桜やそば、地酒、スイーツ等、町内の温泉地や野口記念館、天鏡閣等と合わせ、総合的にPR誘客を図った。

新たに町内の回遊と宿泊増のため「いなわしろスタンプラリー3+1」を実施した。引き続き観光素材の発掘や磨き上げ、地域の「おもてなし」などを観光協会や関係団体と連携し、集客に努めたい。

原発事故後の実態調査は

【渡辺】町内の詳細な調査と、国から実態調査の報告は。

【答弁】国が実施するモニタリング調査等があるが、必ず通知がきている。原子力規制委員会が、水・空間線量・水質等様々な分野で環境放射線の調査をしている。

農作物については、県が代わりに調査をしており、町においても空間線量・水道水。農林水産物のモニタリングを行っている。

【渡辺】東京電力の独自の調査と、損害賠償打ち切りへの町の対応は。

【答弁】基本的に原子力発電施設及びその周辺での放射能汚染調査であり、損害賠償の打ち切りは東京電力側の主張で、確定したわけではない。東電と国の主張が違っているので、今後見守っていききたい。

親子・山村留学制度の活用と、都市部の生徒との交流は

【渡辺】町の取組みは。

【答弁】山村教育留学制度と一口に言っても、地域の実情に応じた取組みであり、そのやり方は様々である。本県では、県立只見高等学校存続を目指す只見町の例がある。

都市部との交流は、いろいろな形でやっているが、親子で移り住み自然体験することや、冬期間のスキー留学等、町にとって何が効果的か検討し、進めていきたい。



都市部との交流にスキー留学等の推進を

町立病院の経営状況は

【渡辺】現状と負担額は。

【答弁】地方交付税で措置される部分もあり、法で定められた額を一般会計から負担している。28年度の見込みでは、償還のための資金5千800万円、病院運営基盤安定負担金2千400万円、不採算地区病院運営経費負担金940万円程度である。

【渡辺】米価の下落と農業経営の今後の取組みは。

【答弁】調査数値はないが、ほ場整備事業や機械の大型化、さらには農地集積による経営規模の拡大が進んでいるので、全国平均、県平均の生産費よりも下回っていると推測する。

規模拡大に伴い、効果的に行える事業として、県の「人・農地プラン」を集落・個人の方が活用している。

また、産地直送や道の駅での直売も推進していきたい。農業面の収支を把握・分析することからも引き続き青色申告の推進を図りたい。



渡辺 真一郎 議員

Q. 東京電力の損害賠償打ち切りに対する町の対応は
A. 確定したわけではないので、見守っていききたい



佐藤 英一郎 議員

Q. 人口減少対策は
A. 人口ビジョン・地方戦略を策定中

【佐藤】人口減少対策の取り組みの現在と今後は。

【答弁】いろいろな施策を展開しながら、人口減少に歯止めをかけたいと事業を展開してきた。全国的な問題であると捉えており、地方創生との絡みが出てきた。「猪苗代まち・ひと・しごと創生会議」を設置し、人口ビジョンならびに地方戦略を作成中である。

【佐藤】本町の人口ビジョン・達成するための施策は。

【答弁】人口目標と捉えるが、「創生会議」の中で議論いただいているところである。確定ではないが、2040年にはおよそ1万1千人程度の人口を維持すべく「きめ細やかな子育て支援」「定住にかかる魅力あるライフスタイルの提案」「安定した雇用創出」「地域を担う人材育成」「交流促進」「道の駅展開」などを柱として、実施可能な施策を展開していきたい。

結婚について町の取り組みは

【佐藤】地方創生総合戦略に基づく交付金を財源に、交流会、セミナーなどの展開を含む、民間のノウハウを利用した新たな形の町の取り組みは。

【答弁】出産手当の拡充、子育て支援など環境を整えているところだが、それ以前の環境づくりとして民間が行う婚活イベントなど、共催・後援も含め検討してまいりたい。

鳥獣害対策の結果は

【佐藤】今年度の実施の成果は。

【答弁】電気柵による対策は非常に効果があると認識しており、多面的機能支払交付金を活用し、集落を長距離に電気柵を張ることにより、大きな効果を上げている。

【佐藤】多面的機能支払交付金の活用ができない地区への対応は。

【答弁】町の予算にも限りがあり、距離が長くなれば地元負担、集落負担

も高額になる。全額交付金で対応できる多面的機能支払交付金に取り組んでいただきたい。



猪苗代に生息する野生の二ホンザル

【お詫びと訂正】

議会だよりNo.140号の記事中に誤りがありました。
佐藤英一郎議員の一般質問14ページ3段目の記事の中、「選挙権が18歳に引き上げられる事」とあるのは、「選挙権が18歳に引き下げられる事」の誤りです。
お詫びして訂正いたします。

ひまわりこども園の課題

【佐藤】非常に水はけが悪く、芝まで水に浸っている状況で、調整池の役割は。

【答弁】流域に一気に排水すると災害も増えるので流域に負担をかけない設計としたためである。

水が溜まっている状況は確認している。改善は必要だと思う。今後は流量を調整できるように検討したい。

【佐藤】園舎を囲むフェンスの高さは。

【答弁】基礎天端から1メートル10センチである。

【佐藤】降雪期の安全対策としてさる川に網をかけることは。

【答弁】網かけ、蓋かけの計画は具体的なものは持っていない。今後様々



さる川の改修は

そばを流れるさる川の改修

【佐藤】さる川は幅2・4メートル、深さ1・5メートル程で、JR横断部分では一気に幅が1メートル程になってしまふボトルネック状態になっているがここを改修する考えは。

【答弁】ひまわりこども園付近のJR横断箇所で水路の幅員は狭まっている。大雨の際は満水状態になっていることは存じ上げている。相応な費用を要するが、いずれ解消しなければと考えている。



ボトルネック状態のJR横断部分

な意見を頂戴しながら、内部でも調整検討し、方向付けをしていく。

道の駅整備事業の課題

【佐藤】防災の拠点をうたった道の駅だが、町全体の防災計画は。

【答弁】平成29年度完成予定の臨時ヘリポートを含め「現地対策本部」「防災倉庫」「緊急避難場所の確保」を行うことを定めている。

【佐藤】安全な旧山潟小学校を臨時の災害対策本部として整備するような考えは。

【答弁】今のところ計画の中には入れていないのが現状だが、貴重な意見として承っておく。

道の駅に投じた経費の還元

【佐藤】多額の費用を投じる道の駅事業や5千万円を投資した株式会社道の駅からの回収計画は。

【答弁】指定管理協定の締結はこれからだが、地域との共栄共存を考えている。観光産業の振興と、農産物等農場産品の販路を拡大し、農業振興を図ることにより、町民の方々への利益の還元をめざしたい。

図書館の蔵書充実と予算の推移

【佐藤】現在の購入予算の推移は。
【答弁】開館時6百万円で現在は百万円である。

委員会レポート

文教厚生常任委員会

ひまわりこども園開園に向けての進捗状況

【概要】

12月24日に落成式を予定。総工費約17億円。建物の中、園庭、駐車場など視察。体育館のような遊戯室、120mに及ぶ廊下など、規模の大きさに一様に驚いた。園庭と駐車場が雨量調整池を兼ねる。駐車場は車100台分。車は東から入って西へ抜ける一方通行とする。

職員は現在用務員を含め35人。3歳児・5歳児は現在の正職員が担任する。0歳児・2歳児は職員の増員が必要である。保健師1名が新たに配属となる。

開園に向けて、ひまわりこども園の説明会を開いた。11月20日から園児募集を開始している。

3月末日に認可が受けられるよう、2カ月前までに申請書を提出する。

幼稚園は卒園式（3月18日）と同日に各園で閉園式を行うが、預かり保育の子供の最終の保育終了は3月28日となる。保育所の閉所式は行わない。記念誌を作成し地域へ配布する。

【意見】

◎いまままでにない大規模なこども園となるので、こども目線で考えたあらゆる安全対策が必要。

◎近くに大きな川、鉄道があり、フェンスをめぐらせることになっていくが、十分な安全対策が必要。

◎防雪、防風対策が必要。

◎利用者の約6割が自己送迎になると見込まれ、混雑が予想される。こどもや保護者への十分な対応と、きめ細やかな安全、安心対策を強く望む。



ひまわりこども園落成式（12月24日）

議会運営委員会

視察地：群馬県中之条町・吉岡町

【中之条町】

中之条町議会では、23年から議員活動のアピールの良い機会として、常任委員会視察研修報告書のファイルを一般町民の方の目に触れる場所に設置した。

25年には、3月定例会の総括質疑を日曜日に開催し、傍聴席がほぼ満杯になったため、委員会室で音声のライブ中継を行った。若干、傍聴者が増えたので、必要性があれば定期的に開催する予定。また、26年6月定例会から、通年議会的運用を試行している。

議会基本条例は議会内部のモラルの問題であり、改革を積み上げた結果をマニュアル化したものであると考えている。制定を目標に中之条町議会に適した基本条例を検討している。

議会としての人口減少対策として、都市と交流するために27年9月定例会で「都市等交流対策特別委員会」を設置し、議員も視察などによってセールスに歩き、最近では町民の理解も得られてきている。

【吉岡町】

吉岡町議会では、議会の活性化への取り組みを行っている先進地視察の結果を踏まえ、議員の資質の向上と議員としての行動を明文化



中之条町の議場を視察

することを目的として、23年4月の改選後から議会運営委員会で議論を重ね、26年4月1日に議会政治倫理条例を制定した。

政治倫理条例では特に、議員が町から財政援助を受けている団体の代表者に就任しながら、予算の審議をすることは問題があるとして、議員は財政援助団体の代表者を辞退することを規定している。

さらに、議会活性化特別委員会を設置して視察研修を行いながら2年間議論し、27年4月1日に議会基本条例を制定した。

また、町民に広く会議の内容を知らせるために27年9月定例会から、公開の原則により全ての本会議のインターネット中継を行っている。

総務常任委員会

普通財産(建物)の利用状況

【概要】

現在、普通財産の建物は、旧役場分庁舎、猪苗代町地域福祉交流センターの一部、六角合同庁舎である。

貸付をしているのは、旧役場分庁舎、猪苗代町地域福祉交流センターの一部である。六角合同庁舎は耐震がなく、取り壊しを予定しているため貸付はしない。

旧役場分庁舎は、猪苗代町観光協会及び本町商栄会の倉庫としてそれぞれ26・5mを貸し付けている。

猪苗代町地域福祉交流センターは、福島県スキー連盟に事務所兼倉庫として68㎡、会津若松地方森林組合、猪苗代・秋元非出資漁業組合、猪苗代町三区林野組合、NPO法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議に事務所兼倉庫としてそれぞれ55㎡、公益社団法人猪苗代シルバー人材センターに事務所・会議室・作業所として197㎡を貸し付けている。社会福祉法人猪苗代町社会福祉協議会には280㎡を貸し付けていて、建物全体の管理、鍵の開錠・施錠、防火管理、各団体の電気料・水道料の支払いの取りまとめなどの管理を委託している。

旧猪苗代病院隔離病棟は、予算

が不足しており、取り壊しできない。

【意見】

◎猪苗代町地域福祉交流センターは、既存の建物をうまく工夫し、改装して使用している。内部の構造、間取りに規則性がないため、初めて訪れた人は戸惑う。よりわかりやすく大きい間取り図を掲げてはどうか。

◎旧猪苗代病院隔離病棟は、衛生的にも外観的にも大変悪い印象を与える。優先して予算を配分し解体すべきである。

◎耐震性のない普通財産建物は、大きな地震の際、危険が伴う。補強するのか、解体するのか早急に結論を出し、即実行すべきである。



猪苗代町地域福祉交流センター

経済建設常任委員会

道の駅整備事業の進捗状況

【概要】

27年度の建設工事の工期を年度末としたが難しいため、事業の繰越を東北農政局と協議している。造成は1期目が終了し、2期目の最中である。建築の杭打ちは年内に終わらせたいが、現在調整中である。電気と水道工事は28年になる。水路は来年の水田に水がかか

る前に終わる予定である。

2つのテナント店舗の募集は6社の応募があり、2社に決定した。レストランと軽食コーナーは全て直営にする予定で、メニューはまだ公表できない。レストランと軽食は価格単価ですみわけをしたい。間取りは、当初の設計通りであるが、各施設の細かい仕様は販売の形態にもよるので、それらに合わせて備品、配管等を協議する。

レストランでは「天の香」や「天のつば」を利用する。おぎにり販売や直売コーナーではそれ以外の品種も取り扱う。

新鮮野菜、加工品、米、花き等を販売する「農産物等出荷者協議会」を設立し、現在82名が登録している。この協議会は、農産物等の販売やPRを通して、消費者との交流を推進し、生産技術の向上に努めながら、地域振興に寄与する。

また冬期間の直売コーナーは、業者と打ち合わせし、猪苗代産、会津産、福島県産の順序での委託販売としたい。

【意見】

◎農産物等出荷者協議会と株式会社道の駅が一体となって、町のPR、振興、特産物のブランド化などを積極的に進めることが大切である。

◎町民も町内の事業者も道の駅の経営内容が不明なので、早め町民に広報すべきである。

◎今後は、道の駅の運営に関して審査、評価等のできる外郭的な組織が必要である。



建設が進む「道の駅」

町民の声



吾妻地区
波多野 富美雄さん

人口減少と議員の有り方 “道の駅”に期待して

猪苗代町は、かつては2万人をゆうに超える人口であった。今は1万5千人に届かない現況であるが、会津地方やその他の町村の中では、まだまだ多い方である。しかし人口減少は、税収の減にもつながる。

9月の定例議会において、議員を1名削減する案が可決された。この2月の改選からは、15名の議員で町政を担うことになる。経費削減の上からも、また人口と議員数のバランスの上からも定数削減はやむを得ないと思われる。町民の声をあまねく町政に届け、反映させるのが議員の役目である。

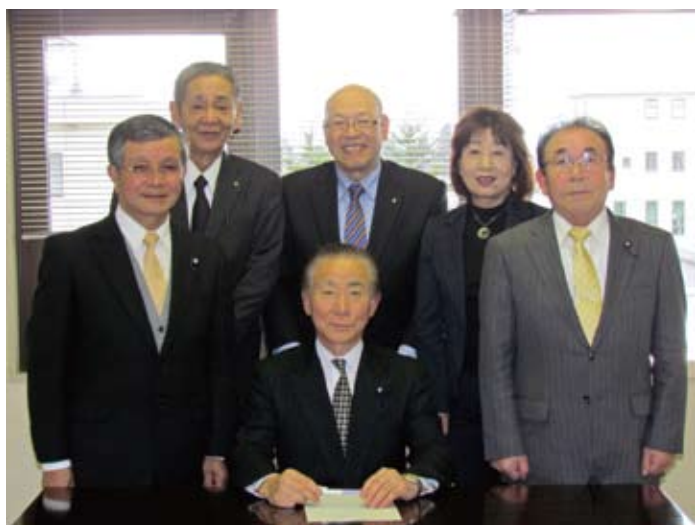
あれば、定数は議会運営に支障をきたさない範囲で、その時代と状況に合ったバランスのとれた定数をこれからも熟慮断行を望むところである。そして選ばれた議員の皆さんは、責任を持って応えなければならぬ事を改めて再確認すべきであろう。

さて、いよいよ猪苗代にも道の駅が高速道猪苗代インターと49号線115号線が交わる場所に来る。どこから来ても申し分のない所で、今年度オープンを目指す。今や道の駅はその地域の顔であり、気楽に立ち寄れる観光スポットでもある。また国からは防災拠点としての重点道の駅に選ばれたという。そこには全国各地から観光や仕事、レジャーや帰省、スポーツやイベント等々、いろいろな形で様々な人たちが大勢集まってくる事だろう。人が集えば食べ物も品物も動く。人との交流も出てくる。そこから地域の活性化につながる事を、大いに期待をし、またそのような事を願ってやまない。

議会の行事

福島県町村議会議員研修会（10月22日）

「人口減少社会の自治体議会」と題して東京大学大学院法学政治学研究科教授の金井利之氏と、「今後の政局・政治展望」日本大学法学部教授の岩井奉信氏の講演を聴講しました。（ビックパレットふくしま）



「4年間、お世話になりました」

議会広報編集特別委員

編集後記

あけましておめでとうございます。広報委員も、任期中最後の12月定例会となりました。

4年間、皆さまに愛される議会、だよりを目指しながら歩んでまいりました。議会の改革と質の向上を目指して編集に努め、一人でも多くの方に傍聴に来ていただけるよう、皆さまの目線で編集してきたつもりです。次の改選では、議員定数も1名削減され15名の新たな議員となり、新しい編集委員によって、次からの議会だよりは編集されます。皆さま一人ひとりに思いが届けられますよう願っております。

今後は町民との対話、あるいは意見等の掲載も含め、更に一歩踏み出した議会だよりとなることを念願し、皆さまへの感謝に変えさせていただきます。

金本 久美子

議会広報編集特別委員会

委員長	佐藤 光幸
副委員長	金本 久美子
委員	細貝 功人
委員	佐藤 悦夫
委員	佐藤 英一郎
委員長	長沼 一夫